

生きた経済にふれた、 全国8,403名の若者たち。

日本の将来を担う若者たちが、生きた経済に触れ、学び、考えていく。日本経済新聞社では、中学生から大学生までを対象とした株式学習コンテスト「第8回 日経STOCKリーグ」を、昨年開催。全国より2,113チーム、8,403名が参加しました。日経STOCKリーグに参加した若者たちは、インターネットを活用した「バーチャル株式体験学習」や、各自の投資テーマに沿ったポートフォリオづくりなどを通して、実際の経済の動きを体験し、金融の仕組みを学んで、きました。この体験をもとにつくられた力作レポートを、審査委員会が審査し各賞を決定。3月15日に日経ホールにて、表彰式と記念シンポジウムが開催されました。教科書の中での知識だけでは得ることのできない、生きた経済に触れ、自ら学び、考え、未来に向けて力強い一歩を踏み出した若者が、すでに約55万。今回もたくさんの若者が日経STOCKリーグをきっかけに、「経済」といふ新しい視点を持ち、日本の進むべき道を見つけてくれたはずだ。



最優秀賞 金融担当大臣賞 The company of Terrestrial resource

去年の夏、私は学校生活の暇を捨てた友達とともに、グループで取り組めるコンテストを探していました。そこに偶然あったのが日経STOCKリーグです。いま考えてみるとコンテストに参加したのは自分たちの力を試してみたいという考えがあったからで、冒険的に株や経済に関心があったというわけではありません。つまり、何かの分野を深く学ぶべくに当たり適当な動機がほしかったのだと思います。そのような中でこれを見つけ、参加しようと思いました。そのため、当初はなかなか明確な道筋もなく手さぐりの状態でした。今になって考えてみると、このことがよかったのかもしれません。我々は最初に、株のprincipleを明らかにする必要があると思い、各自で本を読み学習しました。そして、株とは「金儲けのための道具」というイメージが付きまわっていたのですが、学習した結果、株とは「会社」として社会を成長させるための道具、なのではないかと考えました。そこで、「会社を応援し、その結果社会とつながり、ひいては発展させていくこと」を我々の投資哲学としました。さらに、「身近さ」、「話題性」、「国際性」といった観点によって、テーマを決めました。その結果、班員から出た7個の案の中で、もっともその考えを満たす、「環境」というテーマで進めていくことにしました。我々は次に、環境問題についてよく知る必要があると思い、「エコビジネスネットワーク」を訪ね、環境問題の本質的な問題の解決にはエネルギーの依存先を地下資源から地上資源へ転換することが不可欠であるというお話を拝聴しました。その話に非常に共感をおぼしたので、それにかかわる分野である太陽光発電や風力発電など明確なテーマを絞り込み、関連企業250社をリストアップしました。そして、評価方法のノウハウを教えてくださいたくために、「ブリックリソースセンター」にも訪問しました。このとき我々は、ファンドが企業を「業績や体制」といった観点のみから評価するものと、「社会責任の達成度のみから評価するもの」に二極化していることに気づき、それと同時に疑問を持ち、その2つを融合した評価方法を独自に編み出そうと考えました。そこで、企業を総合的に評価するために、「業績」、「顧客満足」、「広告」、「体制」、「社会責任」、「技術」という6つの項目を設け、詳細で明確かつ客観化した基準を決めました。特に、「社会責任」、「技術」には

第8回 日経STOCKリーグ 結果発表

審査委員長講評 吉野直行氏 慶應義塾大学経済学部教授

「日経STOCKリーグ」は回を重ねるごとにレベルが上っていますが、中でも中学生のレベルアップが際立ち、とても頼もしく感じました。今年の特色は2つあり、まず各地域から巻き上がるエネルギが感じられたこと、そして環境問題やグローバルな企業活動といった視点で株式市場と关连している点です。また、大学生の場合はさまざまな定量的分析の視点、この2つを併せて付けてください。さらには昨今のサブプライムローン問題や、石油・資源の高騰といったマクロな市場経済の動きにも目を配る必要があります。日本は1,600兆円近い個人金融資産を持ちながら、これまで金融業では大きな収益を上げてきていません。皆さんが、これを機会に投資の知識や市場を見る力などの地域のような分野に投資するが、文字通り一層、将来にさまざまな舞台で日本活性化の一翼を担うことを期待しています。

- 敢闘賞** (中学部門は賞金カード5万円分、高校・大学部門は賞金5万円分)
鹿児島大学教育学部附属中学校 2年 / 「ひと粒の大豆から世界へ大冒険と発見してみれば - 大豆関連企業に投資する -」
横浜市立秋田商業高等学校 3年 2 / 「秋田活性化プロジェクト - 秋田に働きたくはない -」
横浜市立大学 2・3・4年 / 「Let's 企業DNA鑑定!! - 次世代経営者アンケートテーママネジメント企業を探し出せ -」
大阪市立大学 4年 / 「人と技が輝くまちを大事に」
中央大学 2・4年 / 「PATENT Revolution 2008 - 眠っていた特許が動き出す -」
パフォーマンス賞 (賞金3万円分)
レポート提出チーム中、自主テーマによるポートフォリオ学習 (仮想的株式投資額100万円の運用)の成績(2月1日時点)上位5チーム
群馬県立富士高等専門学校 / 5,117,228円 昭和大学 / 4,985,329円 共栄大学 / 4,936,311円
鹿児島県立商業高等学校 / 4,934,979円 昭和大学 / 4,910,159円

次は、君たちだ。 第9回日経STOCKリーグ 参加チーム募集開始

参加チームをサポートされる先生のための説明会を開催(来夏(7月下旬予定)開催日時、詳細などにつきましては、参加手続終了後に直接ご案内いたします。

内容 中学生・高校生・大学生を対象にした「自主テーマによるポートフォリオ学習」および「レポートコンテスト」
参加期間 「自主テーマによるポートフォリオ学習」:2008年10月1日(水) - 11月28日(金) / 「レポートコンテスト」の締め切り:2009年1月9日(金)
参加資格 国内在住の中学生・高校生・大学生(短期大学生、専門学校・各種学校生含む)
参加申込方法 経済学習サイト man@bow (まほう) <http://manabow.com/> からの申込みとなります。
参加申込受付期間 第1次締め切り:6月30日(月) 第2次締め切り:9月8日(土)
お問い合わせ 日経STOCKリーグ事務局 TEL:03-3545-9823 E-mail:stockleague@info.email.ne.jp

賞	
最優秀賞	全参加チームより1チーム 米國研修旅行にご招待
部門賞	中学部門・高校部門・大学部門より各1チーム、計3チーム [中学部門]ユニバーサル・スタジアム・ジャパンまたは東京デザイン・リゾートにご招待
敢闘賞	中学・高校・大学部門より各5チーム
パフォーマンス賞	全参加チームより上位5チーム 賞金3万円

BSジャパン・日経CNBCで日経STOCKリーグの特別番組を放送!

日経STOCKリーグに参加した学生たちの取引体験やレポート作成風景を密着取材。経済というテーマに体当たりしていき彼らの姿に、日本経済の将来が見えます。

パネルディスカッション「金融・経済教育の現状と今後」



横 徳子氏 日経STOCKリーグも今回で8回目を迎えますが、その間、日本は大きな変化を遂げました。その中でも、金融市場のグローバル化は顕著です。特に、日経STOCKリーグの参加者が増え、その質も高まっています。これは、日本の経済教育が、単に知識を伝えるだけでなく、実践的なスキルを身につけさせる方向へと変わってきていることを示しています。また、インターネットの普及により、誰もが簡単に金融市場に参加できるようになりました。これは、経済教育の裾野を広げ、より多くの若者が経済に関心を持てるきっかけとなっています。今後、金融・経済教育は、さらに高度化・実践化が進むと予想されます。特に、グローバル化が進む中で、国際的な視点からの教育が求められるでしょう。また、デジタル技術の進歩により、よりリアルタイムで市場の動きを追えるようになるでしょう。これにより、若者は、より実践的な経験を積むことができ、経済に対する理解が深まると期待されます。

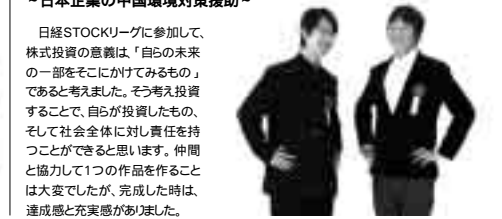
渡辺 喜美氏 金融担当大臣として、日経STOCKリーグの開催に大変意義を感じています。このコンテストを通じて、若者が経済の仕組みを学び、実践的なスキルを身につけることができます。これは、日本の経済教育の現状と今後の方向性を示す重要な機会です。特に、グローバル化が進む中で、国際的な視点からの教育が求められるでしょう。また、デジタル技術の進歩により、よりリアルタイムで市場の動きを追えるようになるでしょう。これにより、若者は、より実践的な経験を積むことができ、経済に対する理解が深まると期待されます。

部門賞 中学部門 企業の環境活動に意味はあるのか? -環境会計から考える、企業の環境活動の意味-



新聞を読んでいると、企業の環境活動に社会の関心が高いことがよく分かります。その中で、私たちが「なぜ企業が環境活動を行うのか?」それはどのような効果があるのか、ということに興味を持っています。環境問題は、世界に共通する問題であり、レポート作成を通して世間が見えてきた気がします。

部門賞 高校部門 中国の環境をどう見かせんといかん!



日経STOCKリーグに参加して、株式投資の意義は、「自分の未来の一部をそこに預けてみるもの」として考えた。そう考えたことで、自分が投資したものの、それが社会全体に責任を持つことにつながると思います。中国と協力していつかの作品を作るとは大変でしたが、完成した時は、達成感・充実感がありました。

部門賞 大学部門 一橋大学3年 カテゴリー・スタンダー -世界に誇れるグローバルリーダーたれ-



国内市場の縮小、経営者の海外重視志向、国際競争力の低下などの様々な要因から、今、経営者に求められる視点、姿勢、スキル、マナーがそれぞれ個性を發揮し、納得いくまで議論できたことが、受賞に至った最大の要因だと思います。この経験を身に付け、それぞれが進む道でも、努力を重ね、結果を残していきたいと思います。

記念講演「グローバル経済と日本経済」



伊藤 元重氏 東京大学大学院教授
「グローバル経済と日本経済」
世界は大きく変わっています。特に、グローバル化が進む中で、国際的な視点からの教育が求められるでしょう。また、デジタル技術の進歩により、よりリアルタイムで市場の動きを追えるようになるでしょう。これにより、若者は、より実践的な経験を積むことができ、経済に対する理解が深まると期待されます。